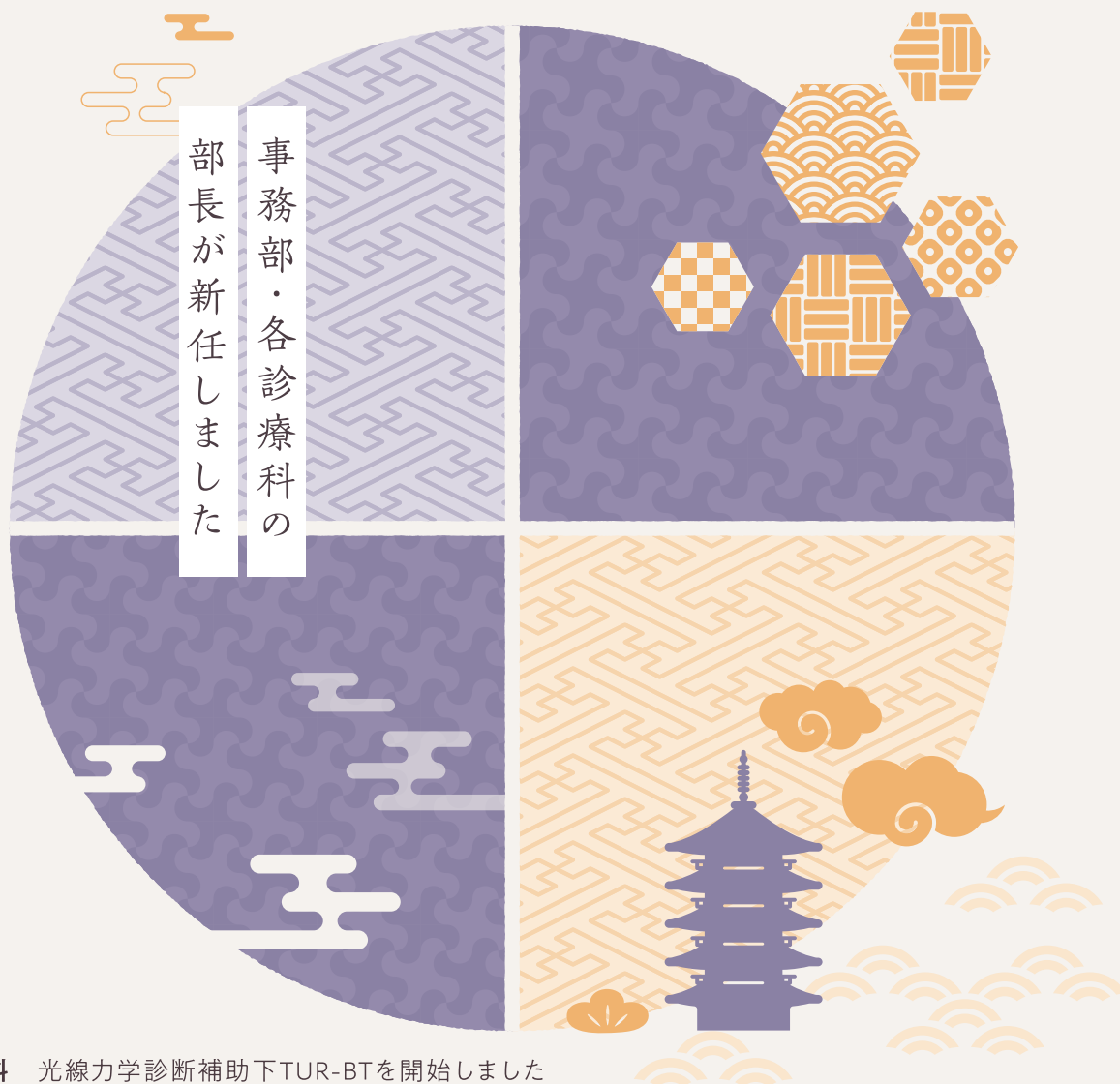


地域医療連携だより

かまんざ



事務部・各診療科の
部長が新任しました

- ② 泌尿器科 光線力学診断補助下TUR-BTを開始しました
- ③ 症例検討会を開催しました
第2回右京医師会合同症例検討会、第1回上京東部・西陣・北医師会合同症例検討会
- ④ 就任あいさつ 事務部長、各診療科部長 乳腺外科が独立しました
- ⑥ 2022年度 連携医療機関へのアンケート結果 お知らせ

当日紹介・予約・診療に関するお問い合わせ

地域医療連携係



075-212-6186

平日 8:30~19:30
土曜日 9:00~13:00

光線力学診断(PDD) 補助下TUR-BTを 開始しました

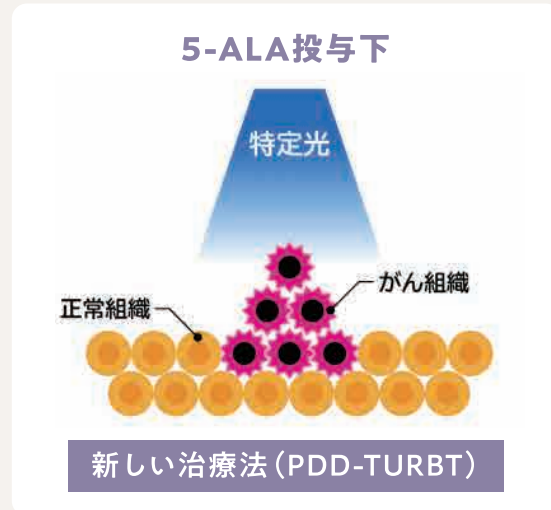
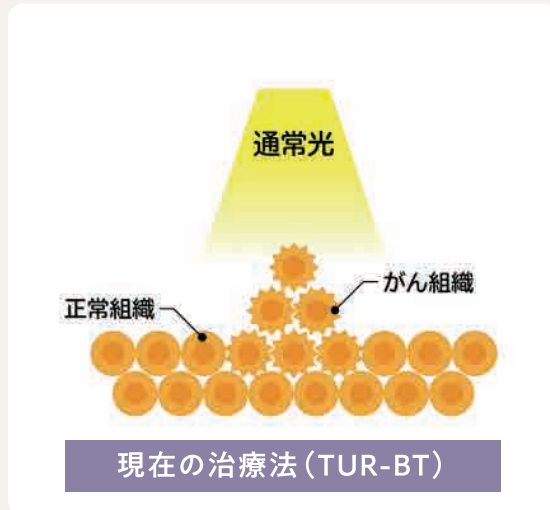
泌尿器科 部長
邵 仁哲



現在、筋層非浸潤性膀胱がん治療の選択肢の1つとして、経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-BT)を用いております。この手術は内視鏡で実施でき、患者さんの身体的負担軽減がメリットとしてありますが、一方で膀胱腫瘍は、多中心性で複数箇所に見つかる腫瘍が残存してしまうことがあり、再発率が非常に高い疾患という側面もあります。

そこで、できる限り再発を抑えるための手段として、今年から光線力学診断(PDD)を用いたTUR-BTを開始しました。この治療は、従来のTUR-BTでは視覚的に確認できなかった膀胱内の腫瘍を特殊な光線を当てることによって正常組織とがん組織を区別することができ、**がんの検出率向上**および**がんの再発低下**に貢献することができます。

患者さんの身体的負担をできる限り軽減し、より良い治療を安心・安全に実施してまいりますので、気軽に当科までご相談ください。



メリット

- 1.がんの削り残しを最大限防ぐことができます
- 2.見えないがんを見える化し、逃さず**診断・切除**することができます
- 3.再発率低下による患者さんの**身体的負担軽減**が図れます

当院のTUR-BT症例件数

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
126	116	120	120

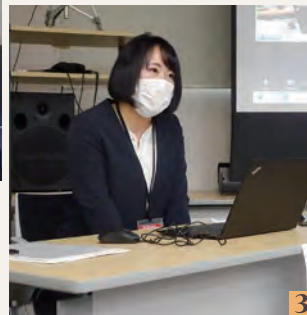
症例検討会 を開催しました



2月18日(土) 第2回 右京医師会合同症例検討会



右京医師会館での開催の様子を撮影してリアルタイムでオンライン配信し、会場で実際に会議に参加する人と、オンラインで参加する人をインターネットでつないで行う「ハイブリッド形式」で行いました。



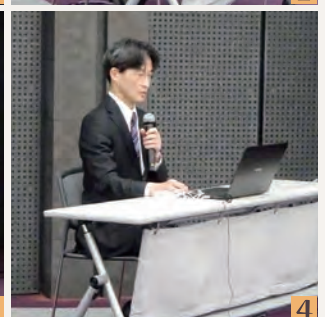
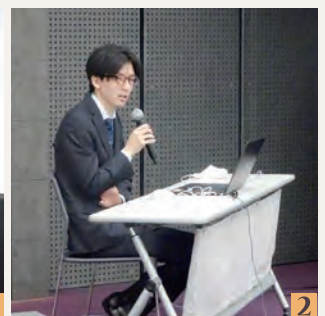
- 1 開会挨拶 右京医師会長 寺村 和久先生
- 2 「心房細動による心不全の2症例」循環器内科 民西 俊太
- 3 「非小細胞肺癌に対する分子標的薬の進歩 ～希少例から考える～」呼吸器内科 堤 玲
- 4 「当院における前立腺癌検査・治療について」泌尿器科 岩本 明幸



3月25日(土) 第1回 上京東部・西陣・北医師会合同症例検討会



京都府医師会館にて、ハイブリッド形式で行いました。



- 1 開会挨拶 西陣医師会長 水谷 正太先生
- 2 「連続膵液細胞診により10mm未満の膵癌を診断した一例」消化器内科 井上 貴斗
- 3 「当院における橈骨遠位端骨折治療」整形外科 國本 達哉
- 4 「脳梗塞、てんかん、認知症を合併した高齢男性例」脳神経内科 部長 永金 義成

壺内賢一

事務部長

つぼうちけんいち



京都府の危機管理監の経験を活かし、地域医療の発展にまい進します

3月まで京都府の危機管理監として、コロナ対策や自然災害などに携わっておりました。中でもコロナ対策では、医療関係者の皆様には、3年以上にわたり昼夜を分かたずご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

これから医療現場に仲間入りさせていただきます。地域医療機関の皆様との連携により、地域に根差した京都第二赤十字病院の役割を果たせるよう頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。

趣味: テレビ鑑賞

座右の銘: 「昨日から学び、今日を生き、明日へ期待しよう」

メリットとリスクのバランスを重視した循環器診療を提供していきます

患者さまのメリットとリスクのバランスを重視した冠動脈カテーテル治療をモットーに循環器診療に従事しています。ステントによる拡張が主体となりますが、高度石灰化病変、高出血リスクなどのステント留置が適さない病変・症例の場合には、ロータブレーター、薬剤溶出型バルーンなどで臨機応変に対応しています。

地域の先生方と治療方針を共有し、シームレスな診療を継続できるよう、循環器内科一丸となって努めてまいりますので、引き続きご指導のほどよろしくお願いいたします。

白石淳

循環器内科 部長

しらいしじゅん



趣味: 散歩、寺社巡り

座右の銘: 「競争すべき相手は自分」

所属学会

認定資格

- 日本循環器学会、循環器専門医
- 日本心血管インターベンション治療学会、心血管カテーテル治療専門医
- 日本心臓病学会、心臓病上級臨床医 (FJCC)
- 日本内科学会 総合内科専門医



乳腺外科が独立しました

これまで乳がん治療は外科の一つのセクションとしていましたが、専門性の高さや乳がん手術数の増加を受け、よりよい治療を提供していくために4月より乳腺外科として独立しました。

増え続ける乳がん患者さんに対応すべく、放射線診断科・放射線治療科・病理診断科・検査部などの協力を得て、質の

高い乳がんの総合的な治療を提供しています。手術では形成外科と連携を取り、患者さんのQOLを最大限に考慮し、乳房再建手術を行っています。また遺伝性乳がんや乳がん術後のリンパ浮腫に関してはそれぞれの専門外来にてご相談いただけます。

乳がんの診療実績

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
57件	65件	63件	64件	62件	71件

一生涯の病を抱える患者さんのために、 寄り添った医療を

糖尿病、内分泌疾患、膠原病は、どれもが患者さんが生涯を通して付き合っていくかなくてはならない慢性疾患です。したがって、我々は患者さんそれぞれの人生を考え、押し付けではない「継続できる医療」を提供しなければならないと考えています。そのためには地域の先生方のサポートが必須で、これまで以上に連携を深めていきたいと願っています。よろしくお願い申し上げます。



山崎 真裕

やまざきまさひろ

糖尿病内分泌・膠原病内科 部長

趣味:ドライブ先の景色の写真を撮ること
座右の銘:「多様性」「意外性を楽しむ」

所属学会
認定資格

- 日本糖尿病学会専門医・指導医
- 日本糖尿病学会学術評議員
- 日本糖尿病療養指導士認定機構理事
- 日本内科学会総合内科専門医・認定医・指導医
- 日本糖尿病療養指導士認定機構理事
- 日本糖尿病医療学会学術評議員

榎村 史織

産婦人科 部長

うめむらしおり



女性ならではの疾患に、 チームワークを活かして治療します

腹腔鏡手術を中心に、あらゆる婦人科良性・悪性疾患の診療を承っています。今日、女性を取り巻く環境は多様化しており、患者さんの抱える問題もさまざまです。一人ひとりを丁寧に観察し、きめ細かな支援を行うよう努めています。

私たちの強みはチームワークだと自負しています。「女性の生涯にわたるこころとからだの健康を追求する」を目標に、今後も総力を挙げて取り組んでまいります。引き続きご指導のほどお願いいたします。

趣味:ランニング
座右の銘:「天は自ら助くる者を助く」

所属学会
認定資格

- 日本産科婦人科学会専門医・指導医
- 日本女性医学会女性ヘルスケア専門医・暫定指導医
- 日本スポーツ協会公認スポーツドクター
- 母体保護法指定医師
- 京都府立医科大学臨床教授

増え続ける乳がんに対して 乳腺専門医が治療を行います

近年、乳がんは増加傾向にあり、女性の悪性疾患部位別罹患数では第1位となっています。当院は乳腺疾患の集学的治療を外科の一つのセクションとして検診や治療に当たってきましたが、その専門性の高さや手術、全身療法などの増加により、4月より乳腺外科として独立しました。

現在は3名の医局員が在籍しておりますが、全て乳腺専門医を取得しており、よりよい乳がん検診や乳がん治療を行い、地域中核病院として貢献できるようにまい進していく所存です。



乳腺外科 医師

中央:副部長 石井 亙

いしい わたる

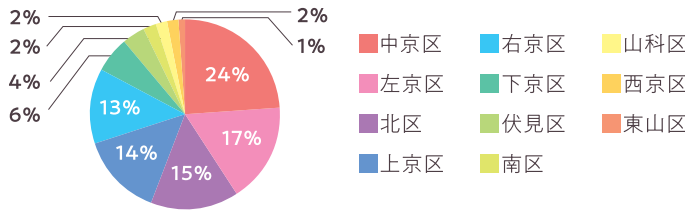
2022年度 連携医療機関へのアンケート結果

対象施設数 814

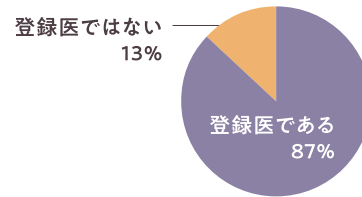
回答率 57% (前回26%)

全回答施設数 465

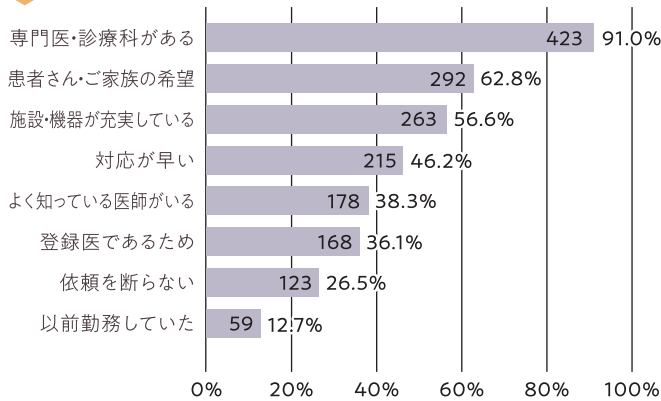
1 回答者の京都市内の内訳



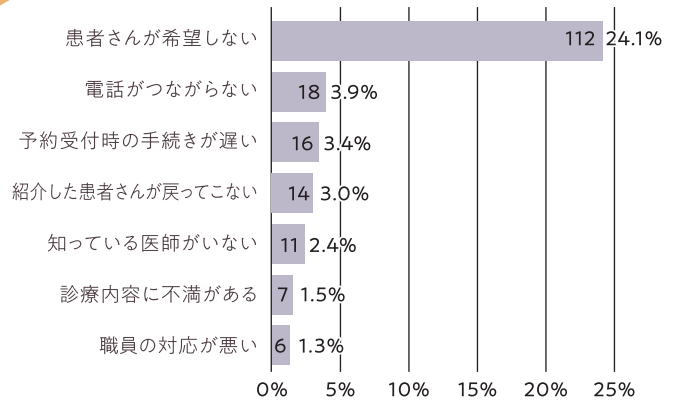
2 当院登録医加入の有無



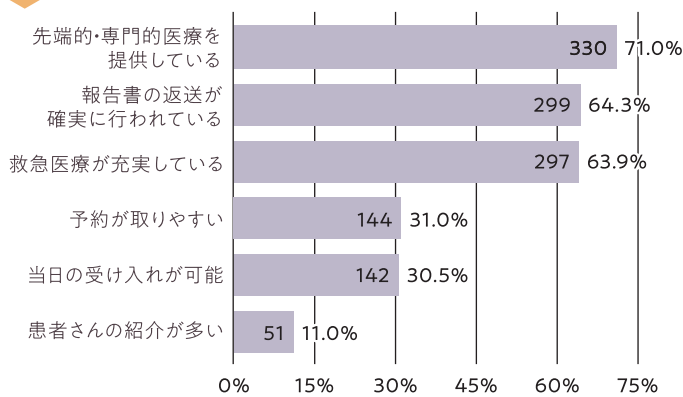
3 当院を選択した理由(複数可) 回答施設数 465



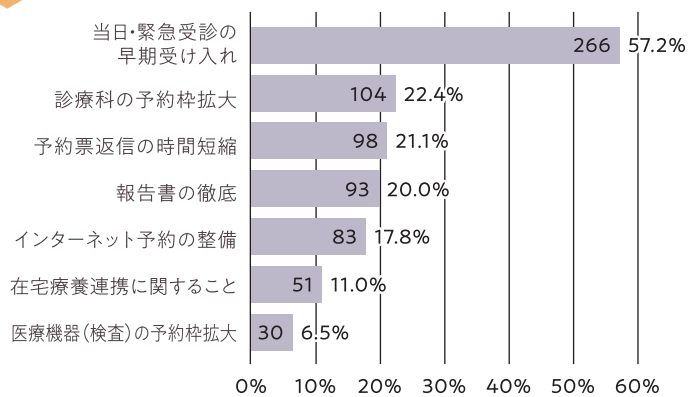
4 当院を選択しない理由(複数可) 回答施設数 166



5 満足度について(複数可) 回答施設数 450



6 今後希望すること(複数可) 回答施設数 401



3~6のグラフは全回答施設数465を母数とした。

時間外選定療養費のご負担をお願いします

当院救命救急センターは昨今の軽症診察の負担増加から、本来求められる機能の維持が困難な状況となっています。そこで4月3日(月)から、通常診療費とは別に「時間外選定療養費」をご負担いただく運びとなりました。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

時間	金額
平日	7,700円(税込)
土日祝	
年末年始(12月29日~1月3日)	
創立記念日(5月1日)	

以下に該当する場合は、対象外となります。

- 救急搬送患者(適正な救急車利用)、受診後入院(含:他院転送)
- 他の医療機関から救急外来受診の紹介状を持参
- 生活保護法による医療扶助
- 当院で出産を予定で、産科受診を目的

救命救急センター地域連携フォーラムを開催します

当院登録医および近隣医療機関の先生方を対象とした、救命救急センターの取り組みの発表とパネルディスカッションを行います。

日時 2023年6月3日(土)14:00~16:00

テーマ 地域の医療機関との連携を強化し、高度急性期医療の提供と最後の砦としての役割を果たす

会場 京都ガーデンパレス2階「葵」

第34回 病病・病診連携懇話会を開催します

当院の各診療科部長と副部長が他病院や開業医の先生方とお話しする時間を設けています。

日時 2023年7月13日(木)15:00~17:00

会場 ホテルオークラ京都4階「暁雲」

地域医療連携だより

かまんざ

vol.11 2023.5

京都第二赤十字病院 地域医療連携・入退院支援室

〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町355番地の5

TEL 075-212-6186

FAX 075-212-6358

WEB <https://www.kyoto2.jrc.or.jp>